

【川越市】民間事業者からの事業提案 募集シート

課題タイトル	不登校児童生徒の居場所づくり・学びの場の確保について
分野	教育・文化・スポーツ
解決したい課題内容	川越市の不登校児童生徒の割合は、令和４年度の実績値で小学校１.６５％、中学校５.６％となっており、児童生徒を取り巻く環境の変化に加え、不登校理由の多様化かつ複雑化により、年々増加傾向となっています。 現在、不登校児童生徒やその保護者に対する支援を実施していますが、支援につながる事が難しい児童生徒も多く、社会とのつながりを持たない児童生徒の居場所や学びの場をいかに確保するかが課題となっています。 特に、自宅から出ることが難しく、支援につながる事ができない児童生徒への支援の選択肢を増やすため、オンラインによる支援環境を整えたいと考えています。
実現したい未来 (担当者の思い)	不登校児童生徒が社会とのつながりを持ち、自分らしい学びの機会を探せる場を構築し、児童生徒が自己肯定感、自己有用感を持ちつつ、社会的自立を図れるようにしたい。
課題に対する現在の取組	・校内教育支援センター（校内学習室）の設置促進 ・教育支援センター（小学生学習支援室・つばさ教室）における支援 ・保護者対象の不登校セミナー
提案者側に期待すること	不登校児童生徒がオンラインで相談員等とつながり、対話や学習ができる場の構築や不登校児童生徒向けの教育支援室の運営について、民間事業者の知見やノウハウを生かした提案を募集します。また、上記の取組がより持続的なものになるよう、外部からの寄附の活用など安定的に運営できるためのアイデアについても、あわせて募集します。
目標値	令和７年度の不登校児童生徒の割合（目標値） 小学校 0.39％、中学校 1.8％ 『教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書』
提案に対する予算措置状況	現時点で予算化の予定はありません。

募集期限	期限はありません。
目指す SDGs ゴール	4 質の高い教育を みんなに  8 働きがいも 経済成長も  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
問い合わせ先	川越市役所 政策企画課